

## 介護サービス基盤整備計画に基づく施設等整備事業者の公募について

### 1 公募結果（第3回再公募）

#### (1) 募集した事業の内容及び規模

令和5年度に整備・開設を希望する地域密着型サービス事業所を公募した。

- ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1か所（対象：全圏域）
- ・ 看護小規模多機能型居宅介護 1か所（対象：全圏域）

#### (2) 公募結果

応募事業者なし。

受付期間：令和4年7月1日～8月19日

### 2 今後の対応

#### (1) 第8期における対応について

##### ① 本年4～5月に市内事業所に対して行った意向調査の結果

- ・ 第8期中に上記サービスの整備を検討する事業者なし。
- ・ 2法人から、第9期に看護小規模多機能型居宅介護を検討する旨の回答あり。

##### ② 第8期中に4回目となる公募を実施した場合

- ・ ①の結果から、市外事業者からの応募となる可能性が高い。
- ・ 現状、市内事業所が人材確保に苦慮しているため、新規参入業者が必要人員を確保することは困難なことが想定される。
- ・ 選定後に着工することになるが、昨今の世界情勢の影響から資材調達に時間がかかることが想定される。その上で、第8期中の開設が求められるため、十分な工事期間を設けることが困難と考えられる。

⇒以上のことから、第8期中に再度公募を行うことはしないこととする。

#### (2) 第9期における介護サービス基盤整備計画の在り方

- ・ 在宅高齢者の医療ニーズを支えていると考えられるものについて検証し、整備について、令和5年度中に検討する。
- ・ 既存施設の老朽化への対策等についても、あわせて検討する。

第8期計画期間中の地域密着型サービス整備目標のうち、定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び看護小規模多機能型居宅介護について、現時点で整備することができていないことについて

## 1. 意向調査結果

令和4年4月～5月に実施した、第8期出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づく基盤整備に関する意向調査のうち、「整備をするにあたって問題となる主な事由」については、以下のとおり回答があった。

<複数回答可>

- ・調査対象 市内介護サービス事業所  
(福祉用具事業所を含む。)
- ・対象事業所数 366事業所
- ・回答数 153事業所  
(回答率：45.5%)

項目	回答数	割合
①人材の確保が難しい	42	24.4%
②経営的に難しい	11	6.4%
③事業拡大の予定がないため	116	67.4%
④その他	3	1.7%
計	172	

## 2. 看護小規模多機能型居宅介護及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護の人員体制について

以下、人員体制については、既存事業所の体制を記載したもの。  
 基準上、介護職員は常勤換算方法で3：1など必要数を確保すれば良いが、登録定員上限まで利用者確保しなければ経営が成り立ちにくいと、ある程度の人材確保が必要となる。  
 この(1)～(3)の事業所を運営する法人は、医療機関、訪問介護事業所、訪問看護事業所など複数事業を展開しており、法人内での異動といった手段が可能のため、他法人に比べ、若干、人材確保の面で余裕がある。

### (1)看護小規模多機能型居宅介護の本体事業所（登録定員29人、通い定員18人、泊り定員9人）

看護職員	5名	(専従)	
介護職員	11名	(専従)	
計画作成担当者	3名	(兼務)	※(2)サテライト型と兼務
実人数	19名		

### (2)看護小規模多機能型居宅介護のサテライト型事業所（登録定員18人、通い定員12人、泊り定員6人）

看護職員	3名	(専従2、兼務1名)	
介護職員	4名	(専従)	
計画作成担当者	0名	(兼務)	※(1)本体事業所と兼務
実人数	7名		

### (3)定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所A（令和4年6月の利用者36人）

オペレーター	0名	(兼務10名) ※訪問介護員と兼務
訪問介護員	22名	(専従12名、兼務10名)
看護職員	0名	※訪問看護STと連携型のため。
実人数	22名	

※なお、令和4年4月1日付で2か所目の看護小規模多機能型居宅介護サテライト型事業所が開設されており、登録定員18名に対し令和4年7月末現在で15名登録と、順調に稼働している。

3. 在宅高齢者の医療ニーズに対応している訪問看護及び訪問診療について

(1)訪問看護の事業所数、訪問診療を行う医療機関の数

【市内全域】

R4. 6. 30時点

	新規開設	休止	廃止	実働
訪問看護ステーション	6	1	2	23
訪問診療				65

【全圏域】

第8期計画期間中に新規開設された訪問看護ステーションは6事業所あり、増加傾向にある。

【地域別】

R4. 6. 30時点

R4. 6. 30時点

	訪問看護ステーション	訪問診療	小計	割合	認定者数 (R4. 3. 31)	認定者数割合	定期巡回	看護小規模多機能
出雲	13	35	48	54. 5%	5, 123	47. 8%	1	0
平田	3	14	17	19. 3%	1, 831	17. 1%	0	0
佐田	0	2	2	2. 3%	343	3. 2%	0	0
多伎	1	1	2	2. 3%	283	2. 6%	0	0
湖陵	1	4	5	5. 7%	398	3. 7%	0	0
大社	2	4	6	6. 8%	1, 205	11. 2%	0	0
斐川	3	5	8	9. 1%	1, 539	14. 4%	1	1
計	23	65	88		10, 722		2	1

地域別の割合を見ると、出雲地域が54.5%と高いものの、各地域に訪問看護ステーション及び訪問診療を行う医療機関があり、概ね、認定者数の割合に応じた数となっている。

(2)給付費

介護保険事業状況報告書（年報）の数値を用いているため、各年度3月～2月サービス提供分の実績。

(千円)

(千円)

	訪問看護	介護予防訪問看護	小計	前年度比較	定期巡回	前年度比較	看護小規模多機能	前年度比較
令和2年度	338, 368	35, 676	374, 044		63, 855		140, 299	
令和3年度	350, 259	34, 693	384, 952	10, 908	75, 322	11, 467	153, 803	13, 504

いずれも前年度比較1千万円以上増となっており、在宅高齢者に対する医療系サービスのニーズの高さが伺える。

なお、現在の市内の定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、主に有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居者に対するサービス提供となっており、在宅者に対するサービス提供は数件にとどまっている。